

広島サミット閉幕

中国新聞

発行所
広島市中区土橋町7番1号
〒730-8677

中国新聞社

電話(082)236-2111(受付案内台)

中国新聞デジタル
<https://www.chugoku-np.co.jp/>

号外

中国新聞の
購読と試し読み
申し込み

0120-492-506

首相 核なき世界へ「一步一步」

被爆地広島で開かれていた先進7カ国首脳会議（G7サミット）は21日午後、3日間の日程を終え、閉幕した。議長岸田文雄首相は広島市中区の平和記念公園で記者会見し、「世界80億の民が全員ヒロシマの市民となった時、地球上から核兵器はなくなるだろう。一步一步、現実的な歩みを進めよう」と述べた。

最終日は、拡大会合に出席した核兵器保有国インドなど8カ



原爆ドームを背景に会見する岸田首相 21日午後2時47分、広島市中区の平和記念公園
(撮影・井上貴博)



原爆慰霊碑に献花する招待国の首脳たち 21日午前9時30分、広島市中区
(撮影・浜岡学)

国の首脳や国連のグテレス事務総長が平和記念公園を訪問。原爆資料館を見学し、原爆慰霊碑に献花した。これに先立ち、韓国の現職大統領として初めて尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領が公園内の韓国人原爆犠牲者慰霊碑を岸田首相と共に訪れ、追悼した。グラントプリンスホテル広島（南区元宇品町）であった討議には、ウクライナのゼレンスキー大統領も参加した。

広島サミットは19日に開幕。初日は、核保有国の米英仏を含むG7と欧州連合（EU）の首脳が平和記念公園を訪れた後、サミットでは初めて核軍縮に絞った文書「広島ビジョン」をまとめた。広島・長崎への原爆投下後の核兵器不使用の記録や、核兵器の減少傾向を続ける重要性を指摘した。20日夜に発表した首脳声明でも核兵器のない世界を「究極の目標」と定め、「全てのの人にとっての安全が損なわれない形」で現実的、実践的なアプローチを確認した。ほかに、ロシアの侵攻が続くウクライナへの支援強化なども盛り込んだ。